

コード	503030102
記入日	H24.6.8

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	前田 哲嘉

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	上郷体育館補強・大規模改造事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	2
事務事業コード	5030301	事務事業名称	体育施設管理費	細目コード	1256
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町体育館条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	22,720人口(H23.4.1現在)			
(対象2) 上郷体育館利用者		(対象指標2)	6,219人口(年間利用者)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・老朽化による耐震補強・大規模改造工 事を実施する。 (平成23年度) →耐震診断 →補強及び大規模改造工事設計 (平成24年度) →耐震補強大規模改造工事 A=810㎡	(平成23年度) ・耐震診断・補強及び大規模改造工事設 計を行なった。 →耐震診断・設計1.0式	① 耐震診断・設計	1.0式	100%	実施事業÷ 計画事業	平成24年度
		耐震診断・設計	1.0式	100%		平成23年度
		(達成率分析)	事業計画のとおり実施することができた。			
		補強大規模工事	A=0㎡	0%	実施面積÷ 計画面積	平成24年度
		補強大規模工事	A=0㎡	0%		平成23年度
		(達成率分析)	平成23年度については診断・設計のみで、監理・本体工事は平成24年度 に実施される。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・体育館を改修することにより、スポーツを通じて町民の健康づくり・体づくり に寄与することを目的としている。		① 事業進捗率	3,885千円	4.6%	実施事業費÷ 計画事業費	平成24年度
		事業進捗率	3,885千円	100%		平成23年度
		(達成率分析)	事業計画のとおり実施することができた。			
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0					
	② ㎡	810	0		0	0	810				
成果指標	① 千円	83,885	3,885		3,885	3,885	80,000				
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	85,985	4,585		4,585	4,585	81,400				
直接事業費 A	千円	83,885	3,885		3,885	3,885	80,000				
人件費 B	千円	2,100	700		700	700	1,400				
内訳	従事職員数	人	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財 源内 訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	76,000				76,000				
	その他	千円	7,800	3,800		3,800	3,800	4,000			
一般財源	千円	2,185	785		785	785	1,400				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	老朽化した体育館を改造して、住民が安全で安心して利用できる体育館に改造する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	改造することにより、日常活動のサークル団体が利用しやすくなり、また、各種イベントにも利用できるようになる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	住民が利用しやすいように、設備の充実を図る。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	生涯スポーツの普及と振興に成果を上げている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	現在、必要最小限の予算で実施している。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	スポーツ施設の整備・充実を図り、スポーツを通じて町民の健康づくり、体力づくりに寄与するものである。
-------------	---

3次評価	住民等の意見
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次	●	●		このまま事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次				類似事業と整理統合
	1次	2次	3次													
	●	●														
	1次	2次	3次													
			事業内容を見直して事業を継続		事業の休止											
			事業費を見直して事業を継続		事業の廃止											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。